

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	国際連合気候変動枠組条約事務局拠出金		<b>担当部局</b>	地球環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成21年度		<b>担当課室</b>	総務課		課長 正田 寛		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	2-2 地球環境保全に関する国際連携・協力				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	2007年12月にインドネシアのバリで開催された、気候変動枠組条約第13回締約国会議(COP13)・京都議定書第3回締約国会合(COP/MOP3)において、2013年以降の枠組みについては、日本の提案により、枠組条約の下に新たにアドホック・ワーキング・グループ(AWG)を設置し議論を進める等の合意をした。今後、これらの議論等を日本が国際的なリーダーシップを発揮しながら国際的な連携を強化し、各国政府や国際機関等との連携を強化するため、国際連合気候変動枠組条約事務局に我が国から専門家を派遣し、同事務局との意思疎通を促進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	同事務局に我が国から専門家を派遣し、同事務局との意思疎通を促進することにより求める主な成果は以下のとおり。 ・政府間プロセスを支援し、実施に関する補助機関(SBI)に報告される内容の準備 ・FTS(Financial and Technical Support Programme)により実施される会合及び研修プログラムの実施及び内容に関する支援 ・資金、緩和、持続可能な開発に係る政策及び措置に関する情報のまとめ及び分析支援 ・非附属書I国が国別報告書を作成するに当たっての技術及び能力に関するニーズを把握し、これを改善する提言等							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	19	17	17	16	17	
	執行額	13	17	17				
	執行率(%)	68.4%	100.0%	100.0%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(-年度)
	国際機関への拠出金の成果を数値等、定量的に現すことは困難。		成果実績	—	—	—	—	—
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国際機関への拠出金の活動指標・実績を数値等、定量的に現すことは困難。		活動実績(当初見込み)	—	—	( — )	( — )	( — )
<b>単位当たりコスト</b>	— (円/ — )		算出根拠	—				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	経済協力開発機構等拠出金	16	17	—				
	計	16	17					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国が国際的なリーダーシップを発揮していくことが、国内外から期待されている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	我が国の専門家の同事務局での必要最小限の活動費用に限定されている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	同事務局に専門家を派遣し、意思疎通を強化し、同事務局の活動を通じた地球温暖化対策に貢献している。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	地球温暖化対策は人類共通の課題であり、すべての主要な国が参加する公平かつ実効性が確保された国際的な枠組の下に取り組むことが重要である。国連気候変動枠組条約事務局に派遣される専門家を通過して、国際会議の場で我が国が国際的にリーダーシップを発揮し、国際連携をより強化して温室効果ガスの排出削減に努める必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	各国政府や国際機関等との連携を強化するため、国際連合気候変動枠組条約事務局に我が国からの専門家を派遣するための経費等について、引き続き、必要最低限の拠出となるよう検討を進めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	021	平成23年行政事業レビュー	018

※平成23年度実績を記入

環境省  
17百万円

拠出金  
【内容】  
国際連合気候変動枠組条約事務局に我が国から専門家を派遣。



【拠出】

A. 国際連合気候変動枠組条約事務局  
17百万円

【活動概要】  
・政府間プロセスを支援し、実施に関する補助機関(SBI)に報告される内容の準備  
・FTSにより実施される会合及び研修プログラムの実施及び内容に関する支援  
・資金、緩和、持続可能な開発に係る政策及び措置に関する情報のまとめ及び分析支援  
・非附属書 I 国が国別報告書を作成するに当たっての技術及び能力に関するニーズを把握し、これを改善する提言 等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A.国際連合気候変動枠組条約事務局			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	拠出金	国際連合気候変動枠組条約事務局 への拠出金	17			
	計		17	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際連合気候変動枠組 条約事務局	国際連合気候変動枠組条約事務局への拠出金	17	—	—

